

## 物構研談話会

日時：9/3 (火) 10:00～

題名：XXXL Solutions for specialty applications Or how to meet your high efficiency Gamma & X-ray detection requirements

講師：Dr. Marie-Odile LAMPERT (キャンベラフランス工場工場長)

日時：11/15 (火) 16:00～

題名：多成分磁気構造を持つオリビン型マンガン酸化物  $Mn_2GeO_4$  におけるマルチフェロイック特性

講師：本田 孝志氏 (大阪大学大学院 基礎工学研究科)

日時：11/28 (木) 10:00～

題名：In-situ XAS, RIXS and TXM experiments

講師：Prof. Dr. Frank de Groot (Synchrotron and Theoretical Spectroscopy Debye Institute of Nanomaterials Science Utrecht University)

⑤ 物構研サイエンスフェスタについて

⑥ マルチプローブ課題導入について

⑦ 次期所長選考について

2. その他

① 5年度放射光共同利用実験課題の審査結果 (U型) について

② 平成25年度後期放射光共同利用実験課題の審査結果について (条件解除)

③ 平成26年度概算要求について

④ J-PARC センター及び東海キャンパスの運営体制について

⑤ 覚書等の締結について (資料配付のみ)

【3】研究活動報告 (資料配布のみ)

1. 物質構造科学研究所報告

2. 素粒子原子核研究所報告

3. 加速器研究施設報告

4. 共通基盤研究施設報告

## 第53回物質構造科学研究所運営会議議事次第

日時：平成25年10月23日 (水) 13:00～

場所：高エネルギー加速器研究機構 管理棟大会議室

### 【1】審議事項

① 特定有期雇用職員の雇用について (物構研)

② 教員人事 物構研 13-7 特別助教 1名

③ 教員人事 物構研 13-8 特任助教 1名

④ 教員人事 物構研 13-12 学術フェロー 1名

⑤ 教員公募 構造生物 助教 1名

⑥ 教員公募 講師 1名

⑦ 教員公募 電子材料 特任助教 1名

⑧ 教員公募 磁性材料 特任助教 1名

⑨ 教員公募 光量子連携融合

特任准教授または特任助教 1名

⑩ 教員公募 特別助教 若干名

⑪ 教員公募 博士研究員 若干名

⑫ 教員公募 ミュオン 特別助教 若干名

### 【2】報告事項

1. 所長報告

① 人事異動について

② 研究員選考結果

③ 陽電子評価委員会・将来検討委員会設置について・委員案

④ 大学共同利用シンポジウムについて

## 内部スタッフ・大学院生優先ビームタイム採択課題一覧（2013年度前期）

課題番号	申請者	所属	課題名	希望ステーション	希望ビームタイム	実施ビームタイム
2013PF-01	阿部 仁	PF	ホウレンソウの塩茹でにおける食塩の効果の検証の模擬実験	9A, 12C	60時間	60時間
2013PF-02	井上 圭介	総研大	放射光X線による Si-APD および高速型シンチレーション検出器の特性評価	14A	2日間	48時間
2013PF-03	手塚 泰久	弘前大学	BL13 における軟X線発光実験	13	6日間	0時間
2013PF-04	手塚 泰久	弘前大学	BL16 における軟X線発光実験	16	6日間	
2013PF-05	足立 純一	PF	軟X線パルスセクターの運転安定性試験	20A	3日間	72時間
2013PF-06	呉 彦霖	総研大	Laue 結晶における Borrmann fan 形成と位相画像の空間分解能に関する研究	14C	6日間	168時間
2013PF-07	高橋 博樹	日本大学	新たな低温高压装置の立ち上げおよび比較試験	18C	1週間	120時間
2013PF-08	藤崎布美佳	総研大	XAFS 測定による NaAlH <sub>4</sub> の局所構造の検討	11A		24時間

物構研職員および物構研に籍を置く大学院生は、次に掲げる項目の実験を行うために、下記手続きを経て優先的にビームタイムを使用できる。

- (1) 新しい実験手法のテスト（装置開発など）
- (2) 試料のテスト（興味深い試料の予備実験など）
- (3) 大学院生の研究指導
- (4) 新しい研究の予備実験

<補足>

- 予備的段階が終了して、本格的に研究を行う場合は物構研職員等も PAC に課題申請する。ポスドク、総研大生についても可能な限り速やかに、受入教員またはポスドク本人が共同利用課題申請を行うこと。
- 1ステーションあたり、優先ビームタイムの配分は年間運転時間の20%程度までとする。

## 施設留保ビームタイム採択課題一覧 (2013 年度前期)

課題番号	申請者	所属	カテゴリー	課題名	希望 ゾーン	希望 ビームタイム	実施 ビームタイム
2013R-1	割鞘 雅一	アステラス製薬	g	放射光を利用した顧みられない熱帯病治療薬創出のためのタンパク質構造解析研究	5A		63.5 時間
2013R-2	松垣 直宏	KEK-PF	b	創薬等 PF 事業におけるビームライン技術開発	1A, 5A, 17A, NW12A, NE3A		1047.5 時間
2013R-3	清水 伸隆	KEK-PF	g	創薬等支援技術基盤プラットフォームにおける溶液散乱スクリーニング	10C,6A		96 時間
2013R-4	神戸 高志	岡山大学	g	アンモニア溶媒を用いて合成した AFe <sub>2</sub> Se <sub>2</sub> (A=Ba, Cs, K) 超伝導体の結晶構造	8B	48 時間	48 時間
2013R-5 (2013G231)	Wang Yanli	Institute of Biophysics	c	Structural studies of Stim1-Orai1 complex	1A	29 時間	37.5 時間
2013R-6	矢嶋 俊介	東京農業大学	g	ヒドラジン分解酵素の立体構造解析	NW12A	14 時間	22.5 時間
2013R-7	清水 伸隆	KEK-PF	e	第 1 回タンパク質 X 線溶液散乱講習会におけるテスト測定	10C	24 時間	24 時間
2013R-8	山本 洋平	筑波大学	e	ポリフッ化ピリリデンやオリゴペプチドの集積構造の解明	8B	24 時間	24 時間
2013R-9 (2013G194)	五十嵐圭日子	東京大学	c	真菌由来セルラーゼ PcCel45A の高分解能 X 線結晶構造解析	1A	6 時間	22.5 時間
2013R-10 (2012G569)	胡桃坂仁志	早稲田大学	c	クロマチンダイナミクスと DNA 損傷修復に関わる複合体の構造解析	1A	14.5 時間	23 時間
2013R-11	鈴木 守	大阪大学	g	リボヌクレアーゼの抗腫瘍細胞等生理活性の解明と応用	17A	8.5 時間	23 時間
2013R-12	松垣 直宏	KEK-PF	e	創薬等 PF 事業における初心者向け講習会	1A, 5A, 17A, NW12A, NE3A		22.5 時間
2013R-13	平山 朋子	同志社大学	b	X 線回折法による二円筒試験機内潤滑油膜の構造解析	NE-7A	96 時間	96 時間
2013R-14	東 善郎	上智大学	b	新規設置 Scienta R4000 光電子アナライザーの立ち上げと調整	20A	48 時間	48 時間

- a) マシン, ビームラインの故障等に対するビームタイムの補填。
- b) ビームライン・実験装置の性能向上をスピーディにする。
- c) 早期に成果を創出するために, やり残した実験を実施する。
- d) U 型課題の受付をし, 重要な研究の計画から成果公表までの時間を短縮する。「既配分課題を排除する程の重要性」ではなくても緊急かつ重要な U 型研究課題を実施する。U 型申請, 審査は従来通り行うが, 留保枠, 未配分 BT 内で実施すべきものはレフェリーの意見を参考に PF-PAC 委員長が判断する。
- e) 講習会, 実習等や有望な新規ユーザーを開拓する。※ 利用経験者による新しい研究提案は U 型課題として処理する。
- f) 教育用ビームタイムの時間確保。
- g) 施設, ビームラインの運営に対する柔軟性を増し, 一層の成果拡大に対して工夫する自由度を作る。外国の放射光施設職員等の来所時にテスト実験を行う等運用上の柔軟性を確保する。